

CBAP®合格体験記 2015/8/12

(日本語 CBT 試験)

ヒューマネテック株式会社

吉山洋一

yoshiyama@humanetech.jp

8月5日に開催されたBABOK® Version 3 説明会にて、講師の清水様より「一度、落ちた人の体験記が参考になるから、是非、書いてください」という言葉を頂きました。

私自身、皆様の合格体験記が、大変、励みになりました。

私の体験記が、今後受験予定の方の一助になれば幸いです。

申請方法については、諸先輩方の体験記で共有されているので、私は再受験での取り組みに注力して記載します。

1. スケジュール

- 2月9日～20日 ネットラーニング受講
- 3月1日 出願
- 3月7日 審査結果通知
- 3月9日 会員申請
- 3月25日 受験、不合格
- 4月3日 CBAP®オンライン模擬テスト受講
- 6月26日 再受験、合格

2. 教材

- ・ ネットラーニング【BABOK®入門】プロジェクト・マネジャーのためのビジネスアナリシス BABOK®
ガイド⇒21時間の専門教育
- ・ BABOK® Version 2.0
- ・ Business Analysis 教科書 BABOK® CCBA®
- ・ CBAP®/CCBA® ビジネスアナリシス認定スタディガイド(上・下巻)
- ・ CBAP®オンライン模擬テスト 日本語 90日版

3. 試験会場

1回目、2回目共にお茶の水ソラシティで受験しました。試験会場の中では、建物も新しく、ヘッドホンもあり、快適なレベルだと思います。

ただし、受付で「CBAP®試験」と伝えたところ、「？」となって、確認に時間を要しました。

土日の午前中は受験者で混雑しますので、可能であれば平日受験がお勧めです。

4. 受験

試験結果は356点で不合格。

試験問題を見た瞬間に「ダメだ、こりゃ」と面くらいました。不合格の理由は明らかで、勉強不足と演習不足です。

その日は不合格から傷心で帰宅しました。

IIBA®本部から「今回は残念だったね。次回も落ちたら1年間再試験できないし、申請やりなおしだよ。次、頑張れよ」といった感じの追い打ちメールが届きます。

それから1週間程を傷心で過ごした後、再受験に向けての勉強方法、取り組み改善に向けて動きました。

5. 再受験に向けて

ここからは、冗談のようですが、不合格の試験結果を合格ラインに移行するための要求分析をしました。BABOK®は子育てにも使えるという記事を以前に読んだことがあったので、試験にも使えるだろうと思立ちました。以下、無理やりな部分もありますが、ご容赦ください。

5.1 IIBA®本部の試験によるビジネスニーズ

「受験者のテストによる見極め」であり、結果として「合格」、「不合格」があります。

5.2 重要なステークホルダー要求とステークホルダー

- ・合格を望む私
- ・合格を応援(脅迫?)する妻
- ・「パパ、テスト落ちたの?」と無邪気な娘
- ・試験に期待される結果は、もちろん「合格」

5.3 能力ギャップをアセスメントする

現状356点から合格スコアまでのギャップがあります。このギャップのアセスメントにベンチマークを使います。

問題はCBAP®の合格ラインのパーセンテージは公表されていないため、残り何問を正答すれば良いのか分かりません。合格水準はPMPよりは高いと言われているので、仮説を立てます。

【仮説】

CBAP®問題が150問、1問4点、全問正解で600点、よくあるCBT試験では最初から100点に加算されていると仮定して、満点は700点。

私の今回の結果が356点ということは、 $256/4$ で64問しか正答できていないということになります。

CBAP®の合格ラインが500点、67%とするとPMPの合格ライン61%より少し高いので仮説が通ります。

	PMP®	CBAP®
問題数	200(内25門ダミー)	150
合格ライン(%)	106(61%)	100(67%)

これで合格ライン 100/150(67%)とした時に、残り36問の正解が必要というギャップが分かりました。このギャップから、残り36問を正解させるというソリューションアプローチが定義できます。

5.4 再受験に向けてのソリューションアプローチは以下5つ。そのまま導入されたソリューションになります。

下記をやって合格できたという、本体験記でのメインテーマです。

① 試験問題の書き起こし

試験の問題を思い起こせるだけ書き起こして、同じ問題や類似問題が出た時に確実に正解できるようにします。とはいっても簡単に思い起こせる程の記憶力はありません。そこで、BABOK®ガイドを読み返して思い起こしました。また、問題と関連する部分にマーキングしました。

これにより+20問正答が期待されます。

② 演習で問題に慣れる

「CBAP®オンライン模擬テスト 日本語 90 日版」を80%正解になるまで、やり込みました。問題のやりこみは注意が必要で条件反射での解答にならないよう、解説とセットで理解します。

これにより+20問の正答が期待されます。

③ 32のタスクと6つの基礎コンピテンシーの書き出し

ノートに何も見ないで書き出せるように繰り返しました。

これにより+5問の正答が期待されます。

④ CBT 試験時のメモへの書き出し

④⑤は試験時の対策です。試験開始後すぐに上記の32のタスクと基礎コンピテンシーをメモに記載します。問題文とタスクを照らしあわせて試験に取り組みました。タスクをメモに書くのに15分程かかりますので、時間配分が必要です。

これにより+5問の正答が期待されます。

⑤ CBT 試験時のチェックマーク

CBT 試験では、後から見返すことができるようにチェックマークをつけることができます。このチェックマークを正答できた問題につけて見直すことで、自分のおおよそのスコアと、正答への強化ができます。自信のない問題をいくらか見返したところで、正答率は低いでしょうから、それなら自信をもって回答した問題を見直してのケアレスがないか、確実に合っているかを確認した方がスコアアップにつながると思います。これにより+5問の正答が期待されます。

5.5 ソリューションパフォーマンスの評価

自己採点は、568点、117問正解、78%。

導入されたソリューションの評価は「合格」です。

期待される結果は、119問正解でしたので、許容範囲です。

6. 受験を検討されている方へ

4月にBABOK® Version3がリリースされることもあって、試験が切り替わるのではないかと焦って受験しました。この時期に受験を検討されている方も、おそらく同じ思いがあるのではと察します。

IIBA®本部に直接メールで「テストの切り替えはいつを予定しているのか」を確認したところ、

「今のところ未定で、Version3がリリースされてからも半年以上はかかるだろう」との回答でした。

個人的な見解ですが、BABOK® Version3の日本語版が今年の冬、それから半年くらいまではVersion2の日本語試験が継続されるのではと予想します。

日本語試験の受験を検討している方には、V2の日本語教材も充実しているこの期間をお勧めします。

先日のBABOK® Version3の説明会で清水様より、BABOK®ガイドや試験が翻訳された環境が整備されているのは日本だけだと伺いました。関係者の方々の苦勞と努力の賜物で、日本語ガイド、日本語試験があるという事実は、もっともっと広くアピールしてよいのではと思っています。

7. 最後に

不合格の時に励まされた言葉です。

国際協力機構のディスカッションルームで、とある外国人の方の、片言の日本語の言葉に心うたれました。

「ベンキョウデキルコトガシアワセ」